



# 夢を拓く



校訓「咲き誇る」  
伊豆の国市立大仁中学校  
学校だより No. 5  
令和5年9月26日(火)

## 読書のすすめ

読書の価値については、今さらひとつひとつを細やかに列挙する必要もないかもしれませんが、誰もが有用なことは理解しているのですが、子供たちばかりか、大人までも活字離れが進行しているのは事実です。大人が手放している文化を、子供たちが継承することはなかなか難しいことです。

デジタル書籍や「〇〇新聞デジタル」など、必ずしも紙媒体に限らず、活字に触れることは、一見「受動的」な行為のようですが、心や頭はとてもアクティブで、多くのエネルギーを費やしています。自分から活字に積極的に関わらなければ、その世界を追体験したり、知識や情報を得たりすることはできないからです。本を読むことは気軽な娯楽や趣味でもあります、「楽しさ」を手に入れるのには、ゲームや動画を見るよりずっとエネルギーも時間もかかる行為かもしれません。それが活字離れを引き起こす大きな要因となっています。つまり、時間がない、面倒くさい、楽しいと思わない……。

1学期末の学校アンケートでは、本校も例外なく、読書習慣の項目は低い評価となっています。本年度から朝読書を日課から外した手前、「読書のすすめ」などと書いていることもはばかられますけれど。

読書習慣については、小 → 中 → 高 と徐々に評価が下がっていくのは全国的な流れとなっており、市立図書館・学校図書館では様々な仕掛けをしながら利用促進を図っています。読書の楽しさを一度体得してしまえば、生涯にわたって本に親しむ可能性は広がっていくと思いますが、何より本を手にする、という機会を作り出すことに腐心しているのが現状です。

学校教育としても大いに反省をしなければならないことがあります。保護者世代の皆さんなら、必ず夏休みに「読書感想文」を書かされたというご記憶もお有りかと思います。「本を読みましょう。そして…」の「そして」によって、本来、まったく自由であるはずの読書という行為が、〇〇するため、という目的化されたものになってしまっていたと言えます。感想文を書かなければならない、読書記録を残さなければならぬ、等々。そのことによって、作文を書くことが苦手な子供には、読書の先には苦痛が待っている、と脳にすり込まれたかもしれません。もちろん、国語科の授業としては、ブックトークや群読などの言語活動を通して書に親しむ態度を養うことは大いに必要とされていることですが、授業を離れたところでは、存分に自由に活字を楽しむべきだと思います。

お時間があれば、図書館や書店にお子様と出かけてみてはいかがでしょうか。本を手取る、という時間をお子様と保護者が共有できるよう、ご家庭でのお力添えをお願いいたします。(文責：校長)



## ☆学校評価「保護者アンケート（前期）」の結果について

前期学校教育活動の評価とともに、ご意見やご感想、学校へのあたたかい励ましの言葉等も添えていただき、ありがとうございました。大仁中職員一同、気持ちを新たにがんばります。

					(%)	
	質問項目	よい	おおむねよい	あまりよくない	よくない	肯定的な回答
1	お子さんは、夢や目標をもって生活していると思う	16.9	50.7	28.4	4.0	67.7
2	お子さんは、自分で考え、判断・決定して行動していると思う	18.0	66.5	13.5	2.0	84.5
3	お子さんの学校生活は、楽しく充実していると思う	34.8	55.7	8.0	1.5	90.5
4	お子さんは、人の話をよく聞いていると思う	16.9	57.2	23.4	2.5	74.1
5	お子さんは、自分の考えを話すことができていると思う	16.6	55.8	25.6	2.0	72.4
6	お子さんは、読書に親しんでいると思う	16.0	19.5	42.0	22.5	35.5
7	お子さんは、自分に必要な家庭学習に取り組んでいると思う	10.0	44.0	35.0	11.0	54.0
8	お子さんは、テストに向けて計画を立て、勉強を進めていると思う	17.0	40.0	32.5	10.5	57.0
9	お子さんは、ALTとの英語の授業やALTとのかわわりを楽しんでいると思う	13.7	55.8	26.4	4.1	69.5
10	お子さんは、家庭や地域において、気持ちのよいあいさつをしていると思う	21.9	56.2	20.9	1.0	78.1
11	大仁中学校の生徒は、地域での交通マナーを遵守していると思う	14.8	65.3	16.8	3.1	80.1
12	学校は、親身になって生徒に寄り添い、一人一人を大切にしていると思う	26.2	67.2	6.7	0.0	93.3
13	お子さんは、睡眠、食事等に気をつけ、規則正しい生活をしていると思う	15.4	47.8	31.8	5.0	63.2
14	お子さんのメディア(スマホ、ゲーム等)の使用方法、時間は適切であると思う	8.5	33.3	42.8	15.4	41.8
15	お子さんの検診結果によって、適切に受診している	47.0	42.9	8.6	1.5	89.9
16	お子さんは、体力管理や体力向上に努めていると思う	28.0	46.5	21.0	4.5	74.5
17	学校は、保護者や外部機関等と連携して生徒を指導・支援している	26.7	61.0	12.3	0.0	87.7
18	学校は、おたよりやHP、メール等によって家庭・地域への情報発信を行っていると思う	36.3	58.2	5.0	0.5	94.5

### ◆登下校について



「気持ちのよいあいさつをしてくれる」「横断するときのマナーがよい」など、地域の方からほめていただくことがある一方で、「道いっばいに広がっている」「大声で騒いでいる」といったことでお叱りを受けることもあります。学校では、生徒への指導とともに、可能な限り下校指導も行っていますが、各地域においても少し気にかけていただき、保護者、地域の皆様もよいところはほめ、気になることがあれば声かけをお願いします。

また、生徒の登下校は徒歩が原則ですが、やむをえず車で送迎をする場合には、北駐車場での乗降を守ってください。学校周辺は道路がたいへん狭いので十分気をつけてお願いいたします。

### ◆下校時刻について



学校からのおたよりや行事予定に、下校時刻が掲載されています。生徒のタブレット端末でも確認できるようになっていますのでご活用ください。放課後に部活動や委員会活動があったとしても16:30には完全下校となります。



## ☆かしわ祭（文化・体育の部）の練習が始まっています

学級や縦割り等での練習に熱が入ってきました。この時期を仲間とともにしっかり乗り切っていくためにも、睡眠時間をしっかり確保すること、朝食をとることを意識し、生活のリズムを整えてください。また、全国的に感染症の広がりが懸念される中、あらためて一人一人が感染症対策（手洗い、手指消毒）に取り組む必要があります。行事実施に向けてご協力をお願いいたします。